

令和7年度 第1回 光明小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年4月25日（水） 9時20分から11時20分まで
- 2 開催場所 光明小学校 1階 会議室
- 3 出席委員 笹竹 和行、河島 秀夫、大隅 智、小澤 房世、岡部 かおり、實森 浜代
太田 有昭
- 4 欠席委員 山本 六二郎、太田 利実保、関島 貴浩
- 5 オブザーバー 新出 丈士（光明ふれあいセンター所長）
- 6 学 校 二橋 宏之（校長）、新 英樹（教頭）、太田 しの（CSディレクター）
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 太田 しの

9 会長の選出および副会長の指名

司会の教頭から、会長、副会長の選出について委員に意見を求めたところ、笹竹委員を会長に、小澤委員を副会長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

10 議長の選出

司会の教頭から、議長の選出について意見を求めたところ、岡部委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

- (1) 「1年生を迎える会」を参観しての感想
- (2) 学校運営の基本方針について
- (3) 学校いじめ防止基本方針について
- (4) 夢育やらまいか事業に対する意見書について
- (5) 学習支援ボランティアについて
- (6) 令和7年度協議会の目標確認

12 会議記録

司会の教頭から、委員総数10人のうち7人の出席があり、過半数を超えているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 「1年生を迎える会」を参観しての感想

議長より、「1年生を迎える会」を参観しての感想を求める発議があり、委員から以下の発言があった。

- 今年の1年生はしっかりしていると感じ、笑い声や返事の声が良い。（大隅委員）
- 元気で笑いが多く感じた。集中と開放、動と静ができると会が効果的になる。
あとスペースの使い方を上手くできたら次の行動が進歩する。（河島委員）
- 1、2年生のダンスで会話するのが良かった。
コミュニケーションもとれて楽しそうに感じた。（小澤委員）

→今年の1年生は女の子が多く、例年と雰囲気の違いなんでもすぐできてしまう子が多い。
(教頭)

(2) 学校運営の基本方針について

校長より、学校運営の基本方針について、資料6頁を用いて説明があり、委員から以下の発言があった。

●このまま1年間協力していきたい。(岡部委員)

本件は、令和6年度第4回協議会にて承認されているため、特に承認等は行わないこととした。

(3) 学校いじめ防止基本方針について

教頭より、学校いじめ防止基本方針について、資料7～21頁を用いて説明があり、委員から以下の発言があった。

●いじめの件数はカウントしているのか。

単発なものを入れると莫大な数になるのか。(太田有昭委員)

→軽重はあるが月一回カウントしていて本校は10件ちょつとの報告がある。(教頭)

●隠蔽したり、数が多いと学校へのペナルティはあるのか。

定義を保護者が認識しているのか。(太田有昭委員)

→ペナルティは無い。定義がしっかりした事で職員もはっきりした対応ができるようになった。

保護者には総会で毎回話しているが理解浸透しているかはなかなか難しい。(教頭)

●アンケートも大事だがそこに時間を費やすより子供に接する時間を確保した方がよいのではないか。(河島委員)

→アンケートは教育委員会の「浜松いじめアンケート」と学校独自のアンケートの2つがある。

学校のは紙だが教育委員会の方は子供がタブレットに直接入力していくためリアルに教育委員会に報告されるので職員に負担はなくスピーディーになっている。

回数も本年度は年間一回ずつ減らした。(教頭)

●1～6年では幅が広いが実際全部拾えるのか。(大隅委員)

→現実本校で定義に当てはまるものは少ないが、はまらないものをいじめにするのかの判断は難しい。子供同士謝って納得して保護者に連絡して解決する案件は多々ある。

1年と6年の解釈は全然違うので陰湿なものは数に挙げて継続していく。(教頭)

●保護者はいじめられる方ばかり考えて声高に言うが、それには前の出来事があり自分の子がいじめる側になってる事が割とわかっていないからそっちの方が怖いと思う。

今後そのことも対応してほしいと思う。(岡部委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(4) 夢育やらまいか事業に対する意見書について

教頭より、夢育やらまいか事業に対する意見書について、資料22頁を用いて説明があった。

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(5) 学習支援ボランティアについて

教頭より、学習支援ボランティアについて、資料 23～24 頁を用いて説明があり、委員から以下の発言があった。

●昨年は出来なかったが虫・植物を詳しく教えて欲しいという要望がある。

河島さんには今年もマジックをお願いしたい。

料理支援、ミシンボランティアはいると本当に助かる。

時期が近づいたらコーディネーターを通じて保護者に連絡する。(教頭)

→引き続きやってくれる方がいる。高学年の子は覚えてくれていて喜んでくれているのかなと思うのでいろんな方にやってもらいたい。(岡部委員)

●去年困ったのは3年のそろばんはあまり集まらなくて、職員もあまりやっていない。

2時間だけあるが触った事のない職員が多い。(教頭)

→昨年参加したが先生もあまり理解できてなくて教え方もわかりづらく子供達がついていけない。何人でもいいので協力していただけるとありがたい。(小澤委員)

→教員にそろばんの研修をしたらどうか。

そろばん教室の先生を講師として招いたらどうか。(岡部委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(6) 令和7年度協議会の目標確認

教頭より、令和7年度協議会の目標について、資料 25 頁を用いて説明があり、委員から以下の発言があった。

●PTA会長に会った時ボランティアの内容を知っておきたいと言っていた。

それによってPTAの人にも声掛けをしてもらうのはどうか。(小澤委員)

●ボランティアの募集は突然来るから総会資料に挟んでで予告したらどうか。

→総会の時に提案できると思う。(教頭)

●春野ではPTA会長も委員の中にいて会に参加していた。(新出委員)

→毎年会長は変わるけどPTAと連携し、つながりを考えてほしい。(小澤委員)

→PTAの方が集まる会合の場に委員が行く方がハードルも低いのでは(太田有昭委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

○その他連絡事項等

(1) 太田有昭委員より夏休みイベント企画の相談があった。

① バスケットボール

三遠ネオフェニックスが移転し浜松に来ることで、フェニックス主催のバスケット体験をプロが来て子供たちに教えることはできないだろうか。

●本物体験をすると心に残るので前向きに検討したい。

熱中症対策は考えないといけない。(校長)

→是非進めたい。バスケが良ければバレー（ブレス浜松）もある。（太田有昭委員）

●バスケは見る機会が少ないので試してみるのは良い。

お礼や謝礼はどうするのか。（小澤委員）

→通常は有料だが今回は無料でよい（太田有昭委員）

●宣伝だけでは困るのでその後の受け皿はあるのか。（大隅委員）

→競技人数を増やしたいバスケを知ってもらいたいという大義でやっている。

チームを作る事も並行して考えたい。（太田有昭委員）

●どこに繋がるかが大事。プロの人を見て度肝を抜くのは良い。

夏休みに行うのは授業に影響しないから良い。（河島委員）

② 科学

東京で科学教室を開いている浜松出身の女性の先生がいて、その方が地域貢献で地元で実験教室を開催したいという相談があった。

最近「ドクターストーン」という科学のアニメが子供たちの間で流行っているので面白い企画じゃないかと思った。

こちらは参加費数百円程度と揃える物もあり協議が必要になる。（太田有昭委員）

校長より職員駐車場スペースの相談があった。

●プール横農機具小屋を潰して広くしたい。

●校門横の佐久間線の広がっている所を学校で使わせてもらえるように教育施設課、区振興課に話している。（校長）

→グラウンドに駐車するのはいかがなものかと思うし、住民はOKだと言っているので予算を出してもらい広くする事は出来ないか。バスも止められるようになる。（大隅委員）

●警報が出て、帰宅させる事になりなおかつお迎えに来てもらう判断になった場合、ドライブスルー方式を試している。

その際に渋滞を起こしてしまうので、ご迷惑になっていないかご近所の方の意見が欲しい。（校長）

→水が凄いところがある。（大隅委員）

(2) 教頭から、次回会議は、令和7年7月4日（金）13時00分から開催する旨の連絡があった。